

平成30年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」 教育長あいさつ

平成30年 8月11日（土）
生涯学習センター 県民小劇場

本日、多数の皆様をお迎えして、平成30年度「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」を開催できますこと、心からお礼申し上げます。

皆様方には、日頃より、県内各地において、それぞれのお立場から愛媛の子どもたちの健やかな成長のために御尽力をいただいております、誠にありがとうございます。

また、御来賓として、文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 中野 理美様の代理で、地域学校協働推進室 西原 あさひ様の御臨席を賜り、深く感謝申し上げます。

平成30年7月豪雨災害では、西日本各地に土砂災害や水災害による大きな爪痕を残し、本県においても、近年例をみない甚大な被害が生じました。犠牲となられました方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に衷心からお見舞いを申し上げます。県といたしましては、被災者の救済を最優先に、各市町との緊密な連携の下、「チームえひめ」の底力を発揮して、一日も早い復旧に全力を尽くして参りますので、皆様方におかれましても、被災地の早期の復興にお力添えを賜れば幸いに存じます。

さて、次代を担う子どもの健やかな成長は、社会全体の願いではありますが、近年、地域社会の支え合いの希薄化や教育力の低下、家庭の孤立化など、子どもを取り巻く問題の複雑化や困難化が問題とされております。しかしながら、県内各地においては、事業関係者の皆様のお力添えにより、地域学校協働本部や放課後子ども教室等の活動が地域に定着し、地域で子どもたちの成長を支援する取組が成果を挙げております。

このような中、今年6月に閣議決定された第3期教育振興基本計画において、家庭・地域の教育力の向上と、学校との連携・協働の推進を目指し、家庭教育支援員となる人材の育成や、全ての公立学校への学校運営協議会制度の導入、地域学校協働活動推進員の配置の促進や研修の充実など、幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の全国的な推進を図ることが求められております。

県におきましても、県教育基本方針・重点施策の第一に「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、その具現化を目指して市町教育委員会及び各関係団体と連携・協働しながら、「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の5つの教育支援活動の効果的な推進及び教育支援体制の充実に取り組んでいるところです。

この「集い」は、教育という枠組みを超えて、子どもたちの成長に関わる、保健・福祉、子育て支援、警察、企業等の多様な立場の方にも御参加いただいております。そして、子どもを取り巻く多様な問題を共通課題としてとらえ、次世代を担う子どもたちの豊かな教育環境の構築に努めるとともに、学校・家庭・地域の連携・協働した

取組の一層の推進を図り、地域の大人一人一人の力を全ての子どもたちの愛顔のために幅広く生かしていただく契機となることを願って開催するものであります。

本日は、国際教育支援機構NPO「e-Education」創業者で、理事の税所篤快（さいしよ あつよし）先生による御講演をいただくとともに、5つの個別テーマによる分科会での事例研究を通して、研修や情報交換を行うこととしております。

皆様方におかれましては、それぞれの立場や経験に基づいた様々な視点から活発な御協議をいただき、実りある研修となりますよう御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、本日御参会の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。